

地方行政サービス改革の取組状況等(令和3年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
373877	香川県	綾川町	町村 V-2

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.6%
本庁舎の夜間警備			98.9%	98.5%
案内・受付			83.3%	89.9%
電話交換			90.7%	92.8%
公用車運転			80.3%	88.6%
し尿収集			100.0%	98.2%
一般ごみ収集			94.4%	97.5%
学校給食(調理)			72.6%	72.5%
学校給食(運搬)			86.6%	91.2%
学校用務員事務			43.8%	38.0%
水道メーター検針			100.0%	99.0%
道路維持補修・清掃等			97.9%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.1%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.7%
ホームページ作成・運営			95.6%	97.8%
調査・集計			97.6%	96.3%

※令和3年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置		窓口業務の民間委託	
設置状況	設置予定無し	委託状況	委託予定無し
BPRの手法を用いた業務分析		【参考】	
取組状況		類似団体	全国(市区町村分)
		総合窓口設置率	委託率
		14.1%	22.2%
		総合窓口設置率	委託率
		14.2%	27.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務				【参考】	
		首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	類似団体	実施率
実施済	委託予定無し	○		○		○	○	○	○	26.3%	4.0%
BPRの手法を用いた業務分析		取組状況		業務改革効果		【参考】		全国(市区町村分)		33.5%	3.3%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	9	0	0.0%	運営で特に問題がないので利用状況を日常的に把握したいため	2	施設の維持管理と使用料の適正な収納のため	28.3%	40.1%
競技場(野球場、テニスコート等)	2	0	0.0%	運営で特に問題がないので利用状況を日常的に把握したいため	2	施設の維持管理と使用料の適正な収納のため	31.6%	48.4%
プール	1	0	0.0%	運営で特に問題がないので利用状況を日常的に把握したいため	1	施設の維持管理と使用料の適正な収納のため	29.7%	52.0%
海水浴場	0	0			0		26.7%	13.7%
宿泊休業施設(ホテル、国民宿舎等)	1	0	0.0%	会計年度任用職員3名体制で管理運営が問題なく行えており、指定管理に移行することでコスト増となるため	1	利用者の受付施設の管理運営が常時必要であるため	89.5%	85.0%
休業施設(公共浴場、海・山の家等)	0	0			0		54.5%	75.6%
キャンプ場等	1	0	0.0%	宿泊施設の管理者が兼務しており、同じ理由で指定管理制度に移行できない	1	利用者の受付施設の管理運営が常時必要であるため	36.7%	59.2%
産業情報提供施設	1	1	100.0%		0		62.5%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		46.2%	65.8%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	40.2%
大規模公園	0	0			0		20.6%	44.2%
公営住宅	11	0	0.0%	管理戸数が少ないため指定管理者制度を導入してもコストの削減が見込めないため	0		4.4%	16.2%
駐車場	0	0			0		23.5%	37.1%
大規模公園、斎場等	1	1	100.0%		0		18.8%	22.8%
図書館	2	2	100.0%		0		16.3%	20.2%
博物館(美術、自然、歴史、考古、動物等)	0	0			0		21.5%	28.1%
公民館、市民会館	10	0	0.0%	地域の連携推進のため	9	施設の維持管理と使用料の適正な収納のため	20.3%	22.8%
文化会館	0	0			0		38.3%	51.5%
合宿所、研修所等(青少年の家庭学習)	1	0	0.0%	青少年育成センターの業務の性質上直営の必要があるため	1	青少年育成センターの業務の性質上直営の必要があるため	12.5%	50.1%
特別養護老人ホーム	0	0			0		0.0%	74.7%
介護支援センター	2	1	50.0%	地域包括支援センターや民間事業者との連携を考えたときに直営が必要であるため	1	相談等、業務の性質上常駐の必要がある。費用対効果が見込めないため、当分の間直営を維持する	23.1%	49.0%
福祉・保健センター	2	0	0.0%	保健業務の質を低下させないため、直営にて行う	2	保健業務の質を低下させないため、自治体職員の常駐配置が必要であると考えている	37.4%	53.0%
児童クラブ、学童館等	6	0	0.0%	各施設の平等なサービスの提供、及びサービスの低下を防ぐため	0		20.6%	24.5%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	【参考】	
		実施率(類似団体)	実施率(全国)
		自治体クラウド	単独クラウド
		84.8%	42.4%
		全国	
		自治体クラウド	単独クラウド
		41.4%	58.6%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定	策定予定時期
【参考】			
類似団体	策定割合	全国(市区町村分)	策定割合
100.0%		99.9%	

(7)地方公会計の整備

統一した基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)		作成完了予定年度	
作成済	○	作成予定	
【参考】			
類似団体	作成割合	全国(市区町村分)	作成割合
89.9%		85.8%	

(注1)統一した基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2)「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体